

—牛に引かれて善光寺詣り—

皆様のご協力により

今日を迎えた「横芝の碑」

今日にち

月日の立つのは速いもので、「広報よこしば」が第二百号を、私が寄稿している「横芝の碑」もその百を迎えることになりました。これを機会に、私が「広報よこしば」に寄稿し始めたところからの事を振り返ってみました。

私が寄稿を始めたのは、まだ役場に在職し、広報業務を担当していた昭和三十八年ごろだったと思います。当時、先輩その他の方がたから「町民のだから身近かな記事として、読んでもらえる欄を何か設けては——」という助言を頂きました。

そこで、横芝町に伝わる昔話や史話などを「ふるさとの話題」として掲載を始めました。ところが、これに対して「こんな物語を秘めた樹木がある」「近所に、こんな社が建っている」などという、各方面からのご連絡を頂き、中には、専門的な記録までお寄せくださる方も出てまいりました。これにお応えし、「横芝の樹木」「ふる里の散歩道ち」「十年一昔」などと題して、シリーズのご紹介してき

ました。

道端にひっそり建っていた碑、寺や社の庭でふと見付けた碑……そこに刻まれた文字の一つ一つに、形に、私たちの祖先の幾年も昔の面影を偲び、遺業を称えようと、昭和四十七年九月から「横芝の碑」の掲載を始めました。記念碑、頌徳碑、道標、石塔などの碑文や誌銘のほかに、刻まれた文字は無くても、その形や図柄から往時を推測でき、口碑として価値のある祠などもご紹介してきました。

ました。

この間に、私は企画課から配置替えになり、更に、役場を退職させて頂きました。広報の担当を離れてからも、この欄についてのご連絡やご注意、そして励まし、時にはお叱りのお言葉の殆んどを私宛に頂いていますので、今でも、担当のような形で寄稿を続けています。

ました。

「横芝の碑」もその百になりましたが、その殆んどが皆様方から頂いたご連絡やご指導を基にして、私なりに、参考書等を頼りに記事を取りまとめ寄稿している。言わば、牛に引かれて善光寺詣りをした老婆の類？果して、頂いた資料が、充分紙面に生かされているだろうか、スペースの都合で一部を割愛したために、説明が不十分になったのではないか、など心配と申し訳なきに終始しています。

火災防ぎょ訓練

16日に 町民広場で

5月16日の午前中に、消防署、消防団の合同による火災防ぎょ訓練が行われます。当日は消防関係車両が、サイレンを吹鳴させ走行しますが火災とまちがえないようにしてください。

有線施設への

損害事故が激増!!

自動車事故や立ち木の抜採による有線柱やケーブルなどに損害を与えた時や、これを発見した時には有線室(2-1111)へご連絡ください。



庚申塔(庚申様)については、皆様からの協力のお陰で、ご紹介が終ったものと思えますが、まだ未掲載のものが有るかも知れません。また「上総と下総では庚申様の形態が違うようだ」と写真を添えたご連絡、この他にも「広報に未掲載の乗馬姿の馬頭観音が建っている」「〇〇町に横芝の名称や住人の顕彰碑が建っている」といったようなご連絡も頂いています。そのどれを見ても、貴重な資料ばかりなので、なるべく早く調査をして、回を追ってご紹介したいと思っています。

【取材中の小沢春光氏、愛用のオートバイで弁当を持ち、どこへでも出かけて行く】

